01 WORK SHEET

評価設計のためのワークシート

目的・目標を明確にしよう

［参照］
第1章（P.14-16）

評価をするために、文化事業の目的・目標を言葉にしましょう。
「いきなりそんなことを言われても…」と思うかもしれませんが、いったん書いてみることが大事です。

評価する対象となる文化事業タイトル：

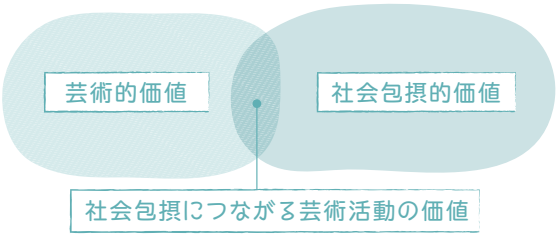
目的 文化事業を通じて達成したい、社会の変化は？

例）認知症の方の「その人らしさ」が尊重される社会になる

目標 文化事業を通じて今年達成したい、具体的内容は？（目標）

例）アート活動を通じて、その人らしさが出てくる状態が生まれる

目標は、「芸術的価値」と「社会包摂的価値」が重なるところ（下図参照）に設定することが大事です。評価に適した目標設定にするために、下記のことに気をつけてみましょう。



BEFORE 参加者がアートのおもしろさを理解する

AFTER アートを通じて、参加者それぞれがおもしろいと感じるポイントの違いを互いに理解する

CHECK!

- ☐ 「芸術活動によって直接変化が生まれること」にフォーカスして目標が設定されていますか？
- ☐ 目標達成の手段や、達成されたときのイメージは具体的になっていますか？

02 WORK SHEET

評価設計のためのワークシート

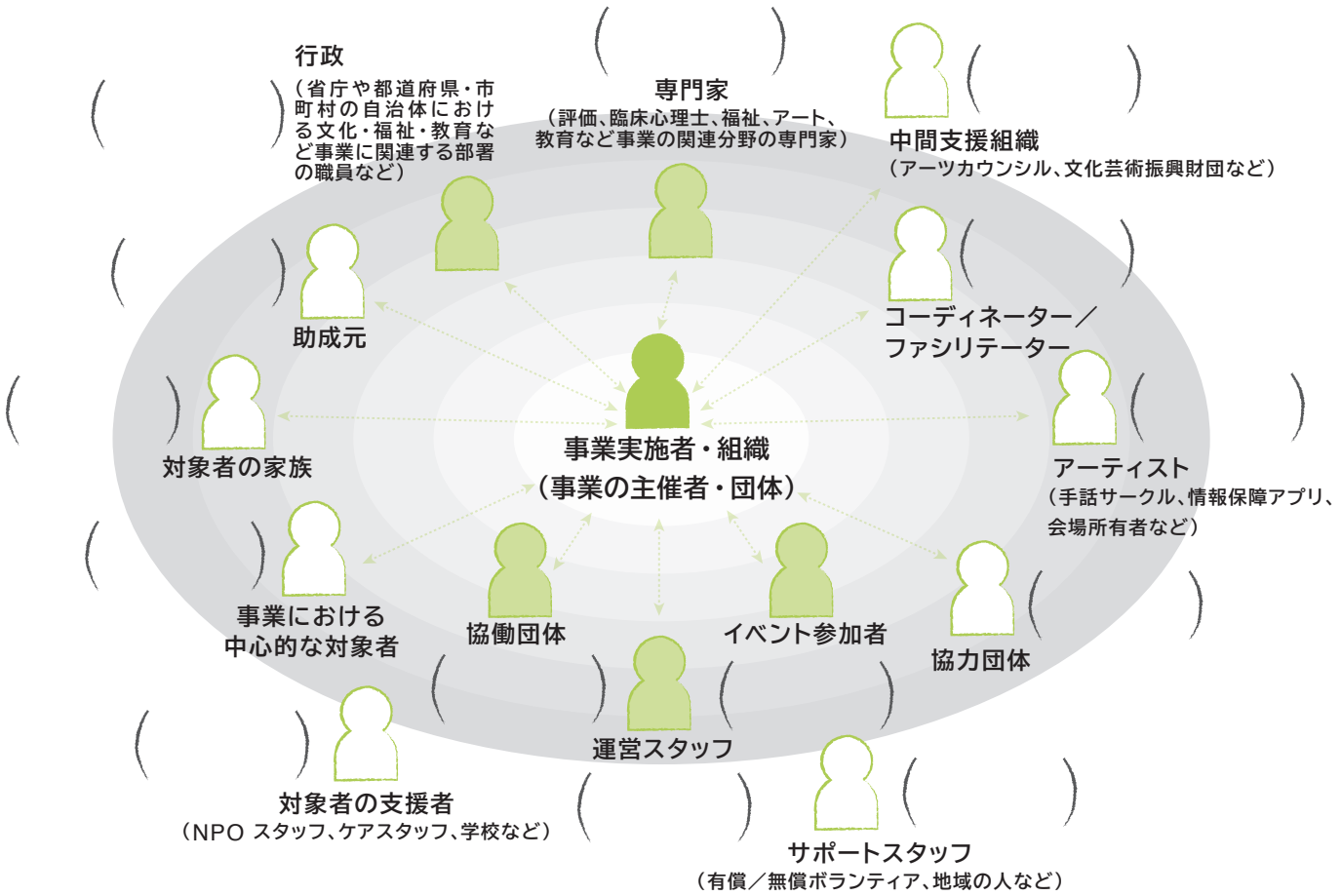
関係者を書き出そう

［参照］
第2章／第4章

今回の事業を行うにあたって、関係者を書き出してみましょう。関係者を書き出すことで、誰とのコミュニケーションが足りていないか、今後どのようなコミュニケーションをとればいいのかが見えてきます。

①関係者マップに、思い浮かぶ名前や団体名を書き出しましょう
②すでに話せている人は実線でつなぎましょう
③変化を測るうえで、もっと声を聞いたほうがいいなと思う人には★マークを付けましょう
④事業をやっている最中や振り返りで改善に向けて一緒に対話をしたい人に♥マークを付けましょう

［関係者マップ］



左のワークシートで書いた「目標」と関係者マップを見渡しながら、チェックしましょう。

CHECK!

- ☐ 目標を達成するために必要な関係性がそろっていますか？
  →事業の関係者たちと話しあってみましょう。
- ☐ 目標には、ここに書かれている人たちの主なニーズが反映されていますか？
  →できていなかったら目標をもう一度関係者と振り返ってみましょう。

03 WORK SHEET

データ収集のためのワークシート

どんな記録が必要か書き出してみよう

［参照］
第3章／第4章

事業では、何を記録として残すか考えてみましょう。

●普段、事業を行う際に記録しているもの、記録できそうなものを丸で囲みましょう。

活動日誌　議事録　イベント記録　写真・動画　アンケート　インタビュー

広報媒体　メディア掲載　参加者や地域の人からの声　作品のアーカイブ

そのほか（　　）

●記録しているもののうち、変化を知るために有効なデータを考え、メモしましょう。

例）・活動日誌やインタビューなどに出現するキーワードの頻度
・参加者や地域の人から聞かれ方変化をあらわすユニークなエピソード

●新しく記録を取りたいと思うものはなんですか？

例）・写真だけではなくイベントのはじまる前や終了後の参加者の様子をふくめ、動画を撮る
・特に表情の変化に注目して写真を撮る
・参加者の作品をアーカイブする

04 WORK SHEET

データ収集のためのワークシート

いつ誰とどう記録をとるか計画を立てよう

［参照］
第３章

いつ、誰とどのようにデータ収集を行うか、計画を立てましょう。
事業の流れにそって具体的に考えてみましょう。

	組織の内部	関係者	参加者
事業実施前			
実施中			
実施直後			
その後			

05 WORK SHEET

データ収集のためのワークシート

振り返ろう

［参照］
第3章／第4章

（自分の団体以外の）誰と振り返るか、関係者マップを見返しましょう。
記録を参考にしながら事業を振り返りましょう。

●実施前と比べて、どんな変化がありましたか？

例）認知症の方のその人らしさが、ワークショップの中でででてきて介護者も家族も驚いた。

●参加者や関係者からの声で印象的だったことを書き出してみましょう。

●社会や資金提供者へアピールしたいことは？

●今後の改善ポイントは？

06 WORK SHEET

成果を発信するためのワークシート

報告のための下準備をしよう

［参照］
＞評価編 P.26

報告書は、誰に向けて、何に焦点をあて、どういう流れで伝えるとよいか、話しあいましょう。

●どの媒体で報告しますか？丸で囲みましょう。

資金提供者への報告書　　オリジナルの報告書（冊子）　　WEBサイト

そのほか（　　）

媒体別にそれぞれこのワークシートをコピーや印刷して下記の質問を考えましょう。

●誰に伝えたいですか？

例）参加した方かった方けどできなかった方人、これから同じような活動しようとしている人

●何に焦点をあてて伝えますか？

例）参加者の変化、連携団体の広がり、予想しなかった方成果など。

●伝えるうえで工夫できることを書き出してみましょう。

例）報告冊子に、参加者の笑顔の写真を多めに載せる